

上越ケーブルビジョン  
令和元年度 第2回番組審議会  
議事録

日時：令和2年3月4日（水）14:00～15:00

場所：JCV2F 会議室

出席者 審議委員表記順：会長、副会長、委員（五十音順）

○直原 幹 会長                      ○横山 裕孝 副会長              ○大橋 愛 委員

○小林 隆浩 委員                      ○関原 英里子 委員

欠席      ○松野 千恵 委員

（上越ケーブルビジョン）

○放送担当取締役 尾崎 正弘

○放送部 部長 福嶋良章

○放送部 放送課 課長 佐藤康司

○放送部 放送課 課長 沢田真紀

1、開会

2、挨拶                                      上越ケーブルビジョン 放送担当取締役 尾崎 正弘

3、放送番組審議会進行内容説明

4、会長、副会長、各委員 ご挨拶

5、議事

(1) レギュラー番組について

「ニュース liNK」

平日夕方6時半から毎日放送 30分番組

地域の問題を取材し、スタッフ数人で毎日6本くらい放送している

収録直前までその日の話題をその日のうちに届けるため日々奔走している。

再放送も含め、できるだけ見ていただく機会を提供。

ニュースの話題は、上越妙高タウン情報にも全て掲載し発信している。

コロナウイルスに関しても、長野県で感染者が出た時、長野県知事の会見の様子を  
長野市のCATV局から入手しいち早く伝えた。

その後も、順次タウン情報とニュースの両方で速報として出し続けている

のきなみイベント関係・学校行事が中止になり、ネタ選びにも迷っているが、

現状、最も関心の高いコロナウイルス関連を中心に構成している。

■上越妙高タウン情報プレミアム会員への見逃し配信サービスから

「妙高中学校二日連続卒業式」の話題を紹介

地域の関心ごととして捉え、この地域ならではの情報を引き続き発信していきたい。コロナウイルスの影響で会議やイベント等が軒並み中止となり、情報量が少なくなっているため、委員の皆様には是非情報提供をお願いしたい。

F M、ネットを含め出来るだけ広く発信している。

「すまいる one」

吉本興業新潟県住みます芸人と市内在住の女性がナビゲータを務める女性視点の情報番組。スタッフも女性中心に構成。

この番組の特徴は、他の CATV 局へも配信を行っていること。

現在、信越の 9 局に配信し、上越妙高の情報を広く発信している。

2 週間で 36 回再放送。ネットからも配信。

■上越妙高タウン情報プレミアム会員への見逃し配信サービスから「忘新年会特集」を紹介

今後のテーマは、コロナウイルスの影響を考慮し、店内で飲食せずに本格的な料理を持ち帰ることが出来るテイクアウトを特集。その後、パン、新店情報など。

「NEXT」

首都圏で夢に向かって頑張っている上越妙高出身者をクローズアップ  
地元を離れた人取材することで、改めて地元への思いを伝え、地域の方にはその人を知ってもらう 地域と首都圏をつなぐ役割も果たしている  
地域から出てがんばっている若手の世代を中心に紹介。

今後のふるさとへの思いを最後にお聞きしている。東京の契約スタッフが制作。

■上越妙高タウン情報プレミアム会員への見逃し配信サービスから  
3 月放送「齊藤ジョニー」さんを紹介

森山直太郎さんのコンサートにも出演するなど活躍の場を広げている方。  
若年層にも観てもらい進路の参考にしてもらえれば。

「Passion～仕事に情熱」

月に一度制作 企業の思いや姿・仕事の内容などを紹介する 15 分番組。

現在は小規模の会社を中心。今後は企業規模を問わず、取材を展開したい。

■上越妙高タウン情報プレミアム会員への見逃し配信サービスから  
「AUTO PRO」を紹介

<意見・感想>

特になし

(2) 特別番組

佐藤) 毎年数多くの特別番組を放送している。

「スノーシューイング世界選手権大会」

池の平温泉スキー場近くのクロスカントリーコースを会場に、アジアで初めての開催。昨年の12月に事務局から話しがあり、中継をすることに。なじみのないスポーツのため、スノーシューそのものや地元からの出場選手の紹介を大会前に行うなど見てもらうための工夫をした。

積極的に参加者への告知・PRも行った。

JCVのスタッフもカメラを持ちながら出場し、実際のコースの様子を紹介した。

前日の開会式の様子もVTRで盛り込んだ。中継は約2時間半。

■上越妙高タウン情報プレミアム会員への見逃し配信サービスから  
中継映像を紹介

事務局も世界選手権を把握しきれないまま大会当日を迎えた。

事前に来れる限りの情報収集を行い海外のH/Pなどからも情報を得て構成した。

役目は雪国のスポーツが妙高市で育まれていること、世界選手権が行われることを多くの方に伝える事。大会関係者からも手厚い中継などに対して喜びの声が届いている。

現在もYoutubeで当日の大会の様子と前日の開会式の様子を発信している。

池の平では年に一度、全日本の大会が行われるので、今後も出来る限り雪国ならではのスポーツとして応援したい。地域の特色あるものには今後も積極的にかかわっていきたい。

「飯山ゆきまつり」

例年、菜の花まつりとゆきまつりをiネット飯山から同時生放送している。

今年も、雪不足の中で行われた祭りの様子を伝えた。

「レルヒ祭」

天候悪化のため厳しい状況となったが、ひと通りの中継を行った。

コロナウイルスの影響で、今後はイベントの開催が不透明だが、地域メディアとして出来る限りの対応をおこなっていく予定。

### (3) その他

#### <全体を通しての意見>

横山委員) 商工会議所青年部に所属しているが、そこでは、少子化に伴うことが課題となっている。特に上越は高校を卒業したらこの地域に戻ってこない。どれだけ高校までの間に地元企業を知ってもらうか、もしくは地元を離れた人がどれだけ活躍しているかを知ってもらうことが課題。その点では、NEXTがとても良い情報。若い世代への番組発信で地元企業を知ってもらえると良い。

関原委員) 英語表記などの取り組みは今後どのように？

自分たちも、保坂邸所有の白無垢の紹介などをインバウンドを意識しながら紹介する活動を予定している。英語表記も加えて紹介する予定。

佐藤) 番組では現在英語表記は出来ていないが、ネットでは雪国ジャーニーが、雪国のゲートウェイという位置づけの元、英語と日本語の両方で表記している。周知を進め、中国圏にも見てもらえるように、今後、言語を増やす計画。

大橋委員) 地域密着型の番組として、今の状況、コロナウイルスの影響による小さなお子さんが家にいる家庭にむけた番組などの工夫は？

佐藤) 学校と子供たちをつなぐ、先生からのメッセージ等の番組を企画。両市の教育委員会には了解を得ている。今後、学校側に案内する。併せて、これまでのアーカイブを活用し、反響の大きかった番組なども組み込み配信していきたい。

直原委員長) 地元住民の提案型の情報という視点で番組作りを続けてもらえれば本当に面白い番組が出来ると思う。求めている側と提供する側の視点が合ってこそその番組。地元住民参加型・提案型を意識してもらえると、地域・番組双方が非常に盛り上がるのではないかな。

## 5、閉会